



多賀城創建記念
TAGAJŌ 1300th Anniversary
724 - 2024



2024 年 10 月 9 日
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社ジェイアール東日本企画
SoVeC 株式会社

「時空を越える！多賀城創建1300年XRスタンプラリー」 「時空を越える！仙台伊達政宗 戦国XR」同時開催

～XR技術により、新しい地域観光を提案する実証実験を宮城県多賀城市と仙台駅西口にて実施～

- 東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：喜勢 陽一、以下 JR 東日本）、株式会社ジェイアール東日本企画（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：赤石 良治、以下 jeki）、SoVeC 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：上川 衛、以下 SoVeC）は、実証実験として「時空を越える！多賀城創建 1300 年 XR スタンプラリー」と「時空を越える！仙台伊達政宗 戦国XR」の2つのXRイベントを同時開催します。
- 実証実験は、本年2月にも多賀城市で実施しており、今回は「多賀城創建 1300 年記念事業」を実施している多賀城の遺跡エリアを訪れる方々と仙台駅を利用する方々を主な対象としています。【タイムトラベル】をテーマに宮城県の歴史への興味を喚起することで、観光地間の送客・回遊促進や地域ファンを創出するもので、「WaaS 共創コンソーシアム」（注1）による「地域実証活動」の一環です。

（注1）「WaaS 共創コンソーシアム」は、Well-being な社会の実現に向けて、移動×空間価値の向上をめざすコンソーシアムです。
(<https://www.jreast.co.jp/jrewcc/>)

1. 実証実験概要

今回は多賀城市内と仙台駅西口で XR イベントを行います。仙台駅での XR 体験から観光で来訪した方の興味を喚起し、多賀城への送客を促します。多賀城市では多賀城史跡周辺の回遊を喚起する XR スタンプラリーを実施します。体験には専用の AR アプリ「XR CHANNEL」（注2）が必要です。



キービジュアル



XR 体験イメージ(東北歴史博物館、多賀城周辺 XR スポット)



（注2）「XR CHANNEL」は SoVeC が開発したロケーションベース AR アプリです。(<https://www.ovec.net/xrchannel/>)

■期間

2024 年 10 月 12 日(土)～11 月 4 日(月・休) 9 時 30 分～16 時 00 分

■場所

- 多賀城遺跡エリア周辺（宮城県多賀城市）
東北歴史博物館、館前遺跡、多賀城碑、城前官衙、陸奥総社宮
- 仙台駅西口ペDESTリアンデッキ（宮城県仙台市）

■検証内容

- ・遺跡の観光地において、観光客の理解・満足度向上に向けた XR 技術の活用手法を検証
- ・新幹線駅（仙台駅）から観光地への送客および回遊を促す XR 技術の活用手法を検証

■使用スマホアプリ

XR CHANNEL（提供：SoVeC ウェブサイト：<https://www.ovec.net/xrchannel/>）

■イベントサイト

<https://www.gototown.jp/lp/tagajosendaixr/>

2. 時空を越える！多賀城創建 1300 年 XR スタンプラリー（多賀城市）

多賀城市内に設定された各 XR 体験スポットにて XR スタンプを集めます。

2024 年 8 月に国宝に指定された多賀城碑をはじめ、多賀城史跡周辺 5 か所を巡るデジタルスタンプラリーを実施します。

イメージムービー： https://youtu.be/GpIkyn_HCnQ



新しい地域観光の提案「多賀城創建1300年XRスタンプラリー」

3. 時空を越える！仙台 伊達政宗 戦国 XR（仙台駅）

仙台駅西口ペデストリアンデッキから駅の建物に向けて、お手持ちのスマートフォンをかざすと、戦国時代の武将伊達政宗をモチーフにした特別な XR コンテンツが体験できます。



4. 本実証実験の体制について

企業名	実証実験での役割
JR 東日本	・ WaaS 共創コンソーシアムの運営 ・ 駅等での PR
jeki	・ 実証実験の全体推進・計画策定 ・ PR 制作および運用
SoVeC	・ 高精度な AR コンテンツの作成および配信技術の提供 ・ 提供サービスから取得したデータの計測・分析支援

参考:2024 年 2 月 16 日発表 「時空を越える！多賀城創建 1300 年 XR スタンプラリー」

https://www.jreast.co.jp/press/2023/20240216_ho01.pdf

■XR CHANNEL について

「XR CHANNEL」は SoVeC が開発した、VPS(Visual Positioning System) 技術を活用した国内初のロケーションベース AR アプリです。スマホのカメラ画像から位置情報を認識する VPS 技術で、街の風景と AR コンテンツが空間上で連携、作用し合うような新しい体験が楽しめます。

XR CHANNEL ウェブサイト:<https://www.ovec.net/xrchannel/>



本件プレスリリースは、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR 記者クラブにお届けしています。

【報道機関お問合せ先】

東日本旅客鉄道株式会社 コーポレート・コミュニケーション部門
株式会社ジェイアール東日本企画 総務局 総務・広報部
SoVeC 株式会社 イベント担当

TEL 03-5334-1300
TEL 03-5447-0974
TEL 070-7485-9844